

# 新型コロナワクチン接種を受けた後の注意点

コミナティ®(ファイザー社)を接種した方へ

主な副反応は、頭痛、関節や筋肉の痛み、注射した部分の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーの症状があります。なお、新型コロナワクチンは新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性がございます。ワクチン接種を受けた後、必ず15分以上は接種会場で座って経過観察を行ってください。

※過去にアナフィラキシーを含む、重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、採血等で気分が悪くなったり、失神等を起こしたことがある方は、30分ほどお待ちください。

## 【接種後、すぐに現れる可能性のある症状について】

接種 日 当 日	アナフィラキシー	・薬や食べ物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。
		・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下(呼びかけに反応しない)を伴う場合、アナフィラキシーショックと呼びます。
		・おこることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
	血管迷走神経反射	・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり血の気が引いて時に気を失うことがあります。
		・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。
		・倒れてけがをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。

ワクチンを受けた日の  
注意点

- 激しい運動は控えてください。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。
- 接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。

## 【接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について】

数  
日

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10-50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1-10%	吐き気、嘔吐

- インフルエンザ等のワクチンより痛みが強いと感じる方もいます。
- これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- 疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。